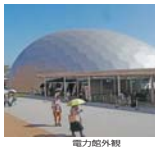

大阪・関西万博から「いのち輝く未来」へ

民間パビリオン4館長の座談会

4月に開幕し、184日間続いた大阪・関西万博が10月13日に惜しまれつつ閉幕した。開幕後しばらくは穏やかな状況が続いたものの入場者は徐々に増加し、連日大盛況となった。万博の累計入場者数は約2557万人で、ガスパビリオンには69万1795人が来館した。

13館が出展した民間パビリオンのうち、ガスパビリオン、電力館、住友館、三菱未来館では、それぞれ未来の都市ガス「e-メタン」の取り組み、エネルギー技術、歴史に基づく森の探検、科学的検証を経た火星の生物探索を展開した。

今回、ガスパビリオンの金澤成子館長、電力館・岡田康伸館長、住友館・西條浩史館長、三菱未来館・小美野一館長が万博を振り返り、その舞台裏と次世代に託す「いのち輝く未来」への思いを語り合った。

座談会参加者

ガスパビリオン
金澤 成子 館長

電力館
岡田 康伸 館長

住友館
西條 浩史 館長

三菱未来館
小美野 一 館長

ガスパビリオン
金澤 成子 館長

明るい未来へ変える

――各パビリオンのコンセプトと特長について。

金澤成子氏　「ガスパビリオン　おばけワンダーランド」のコンセプトは「化けろ、未来！」で、この「化けろ」という言葉は2050年カーボンニュートラル（CN）達成に向けて人々の意識や行動を変える（＝化ける）という思いを込めた。

最新のXR（クロスリアリティー）技術を活用し、来館者は「バケルゴーグル」と呼ばれるXRゴーグルを装着。現実世界と仮想現実が重なり合う世界で未来の都市ガスとなるe-メタンの製造方法やその重要性を体験しながら学べるエンターテインメント性を重視した内容とした。

ストーリーは非常に分かりやすくシンプルで、来館者は案内役おばけの「ミッチー」についていき、バケルゴーグルを装着すると、自分自身も他の来館者もおばけの姿に変身し、たくさんのおばけが登場。欲しいものがなんでも手に入れられるおばけの世界になる。やがて「キング・C・オーツ」（増えすぎた二酸化炭素）が登場し、世界をめちゃくちゃにしてしまう。来館者が協力してキング・C・オーツをH^{2}（水素）光線で倒し、e-メタンに変えるというストーリーだ。

電力館
岡田 康伸 館長

次世代へのステップ

岡田康伸氏　電力館のテーマは「エネルギーの可能性で未来を切りひらく」で、コンセプトは「可能性のタマゴ」。エネルギーの可能性を通じて切りひらかれる未来を来館者に感じてほしいという思いを込めた。

メインショーは二つあり、一つ目の「可能性エリア」では核融合や無線給電などの革新的な技術から、ミドリムシ、シビレエイなど意外なものまで29の未来のエネルギー技術について展示した。来館者は光ったり震えたりする「タマゴ型」の端末を一人一つ選んで首から下げ、各エネルギーに関するゲームを体験する。ここはエンターテインメントに振り切っていて、全身を使ってワクワクしながら未来のエネルギーを体感できる。

二つ目の「輝きエリア」は、無数の光と音、タマゴ型端末の光が連動するイマーシブ（没入型）ショー。ここで「いのちの輝き」を体感してもらうようにした。

西條浩史氏　住友館は「さあ、森からはじまる未来へ」というメッセージを掲げ、多様な生物が共生し、多くの命の物語がある〝森〟をテーマとした。

ガスパビリオン外観

館内は三つのゾーンがある。一つ目はランタンを片手に誰も知らない森「UNKNOWN FOREST」の中を自由に巡り、さまざまな「いのちの物語」と出会う冒険ゾーン。動物や昆虫、植物などの多様な生命が息づく〝森〟を自由に探検し、来場者の行動とランタンが連動するインタラクティブ（相互作用）な体験を提供した。

住友館
西條 浩史 館長

ポジティブな影響へ

二つ目は「パフォーミングシアター」。空間に風や霧が漂い、複層のスクリーン映像とダンサー、音楽が融合する演出で、「UNKNOWN FOREST」のクライマックスを迎える。

最後は「フォレストギャラリー」。住友グループの技術や取り組みを基に、生成AI（人工知能）を使って人類が直面する共通課題の解決や豊かな未来社会への思いを込めて作ったアイデアを「ミライのタネ」と名付けて展示した。

電力館外観

小美野一氏　三菱未来館は「いのち輝く地球を未来に繋ぐ」というコンセプトで展開した。

館内のメインエリアは幅11㍍、高さ9㍍の巨大なLED曲面スクリーンを採用し「JOURNEY TO LIFE」と題した映像を提供。案内役のキャラクター「ナナ」と「ビビ」に導かれ、宇宙船に乗って旅をする。地球生物の誕生から進化、そして火星における生物の痕跡を巡る物語を表現した。

内容は東京科学大学の関根康人教授が監修したほか、海洋研究開発機構、名古屋大学、慶應大学などの関連研究者に協力をお願いし、科学的検証に基づいたコンテンツとなった。また、9月10日にアメリカ航空宇宙局（NASA）が火星探査の結果、火星で微生物の痕跡を発見した可能性があるということを発表した。このことも当パビリオンの映像の科学的裏付けになったのではないか。

――それぞれ来館者のターゲットは。

金澤氏　ガスパビリオンの主なターゲットは小学校高学年。遊びながら学ぶことができるように工夫を凝らした。環境問題に対する都市ガス業界の取り組みを知ってもらうため分かりやすさを重視した。明るい未来へ変えていこうというメッセージを伝え、子どもたちの記憶に残り、豊かな心を育む原体験となるパビリオンを目指した。

岡田氏　電力館のメインターゲットも子どもだが、大人にも楽しんでもらえるよう知恵を絞った。特に開幕当初の平日はシニアの人が多かったので、メインターゲットの子どもたちを誘引するための特別枠を設定するなど工夫した。

住友館外観

西條氏　住友館は子どもたちに限らず、全世代に自然や命について考えてもらえたらという思いを込めて展示内容を決めた。住友グループの礎を築いた愛媛県・別子銅山における開発の歴史の中で森林保護の活動も進めてきた。こうした取り組みを幅広い世代に伝えたかった。

小美野氏　三菱未来館も全世代に向けた展示にしたが、10～15歳がメインターゲット。少し難しい内容も含まれているが、50年に30～40代となり、社会の中核を担う世代に私たちの思いが届けば良いと思った。結果として100人が収容できる部屋をフル稼働し、1日70～80回のツアーを実施、1日当たりの平均来館者は6920人、累計の来館者数は約127万人を動員できた。

――開幕前から連携したことは。

岡田氏　民間パビリオンは13館が出展し、他のパビリオンがどんなことをするのかというのは気になっていた。コンテンツ内容は互いが切磋琢磨したおかげで良いものができたと思う。展示やコンテンツを競い合う一方で運営方法では協力していた。

西條氏　その通りで各館とは運営面を含め、開幕前から情報交換をしていて、それが参考になった。「こういう風にやっているのか」と思うのもあれば、「同じような考えだ」と安心することもあった。民間パビリオンのコンテンツはいずれもバラエティがあって面白いと思った。

小美野氏　内容でいうと、私ははっきり言って電力館、ガスパビリオン、住友館がうらやましかった。発電やエネルギー、住友館は長い歴史の原点に森があるといった展示の軸が定まっている。一方で当館は三菱グループ29社の共同出展であり、各社の事業が多岐にわたっているためテーマを一つに絞るのが難しかった。

さらに3館は端末を使う体験型だったが、当館は映像を着座で鑑賞するスタイル。そうした違いをどうアピールするか難しかったが、各パビリオンの多様性の表現として良かったのではないか。歩き疲れた人から「座れてホッとした」という感想もあって、癒やしの場を提供できた（笑）。

金澤氏　開幕直前の博覧会協会によるテストランで初めて各館の中身を見る機会があった。そこでそれぞれに特長があり、パビリオンに込めた思いや出来上がるまでの苦労を改めて理解した。運営面では情報連携をしていたので、各館と一緒に作り上げてきた万博という意識が強まり、「最後まで無事に運営できますように」という気持ちを持ち続けた。

――来場者の予約対応について各館とも苦労したと聞く。

金澤氏　共通で導入しなければならない予約システムなど運営ルールについては情報交換し、民間パビリオンの代表が集まって課題や要望などの意見をまとめ、主催者側に伝えることを一生懸命やった。ここは本当に皆さんに助けてもらった。

小美野氏　驚いたのが、「入れるなら何時間でも並ぶ」や「予約なしで入れる列を作って」という声が多かったこと。海外パビリオンは予約システムを導入していない館が多く、並べば入館できることもある。海外パビリオンと比較して民間パビリオンは柔軟性がないと受け止められるのは仕方なかった。

西條氏　当館は一部予約なしで並ぶ列も作っていた。だが、東ゲートから近く、開場と同時に走って来る人が多くなり、安全性を担保できないと判断。先着順は7月に取りやめた。代わりにコミュニケーションアプリLINEを使った抽選方式を導入した。ただ、高齢者を中心に使い方が分からない人に教える作業が発生し、当館前はLINE教室状態になった（笑）。

4館長が一堂に会し、終始和やかな雰囲気で行われた

金澤氏　当館も当初はキャンセル待ち列を作り、並べば予約なしでも体験できるようにしていたが、安全面で課題が出たため完全予約制にした。予約が取れないということに対してものすごく問い合わせがあり、心苦しかったが、それでもけが防止やトラブル回避には必要な対策だった。

三菱未来館
小美野 一 館長

生命の奇跡を大事に

小美野氏　当館は予約なしでも入れる時間帯をその日の状況で決めており、開場すぐは比較的予約なしで入れた。東ゲートに最も近いため、他のパビリオンまで走って並ぶのが難しい人が多く来館された。比較的オペレーションが簡単なので、運用方法を変更したことはなかった。想定外だったのはパビリオン前に立っていると来場者からトイレの場所や予約アプリの操作方法を聞かれたこと。博覧会協会の人に代わり結構な数の質問に答えた（笑）。

また、当館は宇宙に浮かぶマザーシップのような形で、地下から地上2階までを巡る構造となっており、地下空間は日陰で順番を待つ来館者の熱中症対策にもなったと思う。

西條氏　個人的にはシニアの方が走っているのを見ると心配になった。

岡田氏　同感。でも1970年の万博もあの世代が盛り上げてくれたのだと思うと感慨深かった。

運営してみて分かったことは来館者の満足度が重要だということ。混雑すると楽しめず、不満足感だけが残る。そのため、当館は途中から1回の入館者を40人程度に抑えて運用するように変えた。計算上は70人入るところだが一人一人の楽しめる時間を増やした。結果的にこれが良かった。やってみないと分からないことが本当に多かった。

――心に残ったことやハプニングについて。

西條氏　ハプニングと言えば、非常ボタンを押されたこと。当館は森を探検するというコンセプトだったので、おそらく隠しボタンか何かと思って押されたのかもしれない。押されてしまうと演出がいったん全て止まり、運用に支障が出てしまうので困った。

三菱未来館外観

金澤氏　万博会場ではたくさん花火が打ち上がったが、当初告知がなかったため、XRゴーグルをかけて体験中の来館者が大きな音にパニックになってしまった。一方で印象に残っていることとして、子ども向けの「キッズお仕事体験」や電力館との学生向けのワークショップなど、万博ならではの取り組みができた。

岡田氏　驚いたことはタマゴ型の端末に愛着を持ち、返却時に「さみしい」と思ってくれる人がいたこと。また、端末は7色から選べるのだが、最も人気が青紫色で不人気がオレンジ色というのも不思議だった。暑い日が多かったので寒色系が人気だったのではないかと思う。

小美野氏　開幕ギリギリまで本当にいろいろあり、開幕してからも大変だったが、その中でも帰り際に来館者から「すごく良かった」という声をかけてもらったのが印象的だった。こういう声をダイレクトに聞けることが何よりうれしかった。

――次世代へのメッセージを。

小美野氏　三菱未来館が伝えたかったのは、命は最初一つから誕生し、その命が進化したこと自体が奇跡なんだということ。その奇跡を大事にしてほしいというメッセージを送った。今回の万博はコロナ後のリアルイベントで、準備中にロシアのウクライナ侵攻その他、世界中で分断が起きた。来場した多くの人たちが同じ場を共有したというリアルの重要さというのを実感してほしい。

西條氏　住友館は自然や環境問題を始め、未来について考えるきっかけを提供できたのではないかと思う。「25年の万博ではこんなことがあった」というのを思い出してもらい、多くの人の行動へポジティブな影響になることを願う。

岡田氏　電力館はエネルギーや環境問題を提示している。エネルギーの可能性を楽しく面白いものと受け取ってもらい、次世代につながる新たなステップとして進んでいけたら良い。万博自体の評価は分からないが、各パビリオンが184日全日営業できたことは大成功と呼べるのではないか。

金澤氏　ガスパビリオンは未来を担う子どもたちに対していかに環境問題を自分事として捉えてもらえるかが大事だった。来館者から「私がキング・C・オーツだった。反省して頑張る」という感想もあり、そういった気づきのきっかけになったのではないか。併せて都市ガス業界が覚悟を持ってエネルギーのCN化に取り組んでいるということも示せた。この体験を機に、子どもたち自身の一歩によって環境問題が解決し、明るい未来に変わっていくんだということが伝わっていると願っている。

ガスパビリオンの歩み

【2018年】	2025年に開催される国際博覧会（万博）の開催地が大阪に決定
【2022年】	
2月	2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）でパビリオンの出展が内定したと発表
5月	「民間パビリオン出展者発表会」でガスパビリオンを紹介
【2023年】	
3月	パビリオンのコンセプト「化けろ、未来！」、名称「ガスパビリオン　おばけワンダーランド」、建築デザインを発表
9月	「ガスパビリオン　おばけワンダーランド」の起工式を実施
10月	「民間パビリオン構想発表会」で、「ガスパビリオン　おばけワンダーランド」の案内役のおばけキャラクター「ミッチー」を公開
【2024年】	
4月	「ミッチー」の仲間の新おばけキャラクター７体を発表
9月	「ガスパビリオン　おばけワンダーランド」の体験概要とユニフォームデザイン、ネーミングキャンペーン「おばけ総選挙」を発表
11月	「ガスパビリオン　おばけワンダーランド」 の建物が完成したと発表
【2025年】	
1月20日	「バーチャル万博～空飛ぶ夢洲～」に出展する「バーチャルガスパビリオン」の概要を発表。「ミッチー」の声に声優の下野紘氏を起用したことを発表
3月27日	「ガスパビリオン　おばけワンダーランド」の構成エリアや「おばけストア」の概要などを発表。「ガスパビリオン　おばけワンダーランド」の開館式を実施
4月10日	「バーチャルガスパビリオン」を公開
4月13日	開幕
5月10日	来館者10万人達成
6月 9日	来館者20万人達成
7月 6日	来館者30万人達成
8月 2日	来館者40万人達成
8月の土日	（30、31日除く）「キッズお仕事体験」
8月19日	「ガスパビリオンデー」
8月28日	来館者50万人達成
9月17～28日	大阪ガスと「e-メタン・バイオガス WEEK」を実施
9月22日	電力館と大学生・大学院生対象のワークショップを開催 来館者60万人達成
10月12日	日本国際博覧会協会主催の「持続可能な取り組みに関する表彰【脱炭素部門】」受賞
10月13日	閉幕。来館者数は合計69万1795人

大阪・関西万博を終えて

内田高史・日本ガス協会会長

大阪・関西万博は、国内外から多くの来場者をお迎えし、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマのもと、184日間にわたりさまざまな感動や体験をもたらした。この万博において、開催運営等を担われた博覧会協会やボランティアスタッフなど関係者の方々に改めて御礼申し上げるとともに、日本ガス協会が出展した「ガスパビリオン　おばけワンダーランド」にご来館いただいた約70万人のお客さまをはじめ、日々素晴らしいチームワークとプロ意識でご対応いただいた総勢約200名のパビリオンスタッフ、都市ガス業界関係者など、全ての皆さまに心より感謝申し上げる。

当パビリオンでは、未来のエネルギー「e-メタン」や都市ガス業界のカーボンニュートラル（CN）実現に向けた取り組みについて、楽しく学んでいただくことを目指した。SNSなどを通じて「子どもも大人も楽しく環境とe-メタンを学べた」「楽しみながら学べるパビリオン」といったお客さまの声をいただけたことを大変うれしく思う。

パビリオンへのご来館を通じ、子どもから大人までエネルギーの未来に関心を持ち、行動の変化を促すきっかけになったとすれば、私たちにとって大きな成果。特に未来を担う子どもたちの原体験として記憶に残ることを期待したい。

万博で得られた成果も生かして、私たち都市ガス業界は志を一つに、e-メタンの社会実装をはじめとするCN実現に向けた挑戦を続けていきたい。

COSMOS
一酸化炭素センサで もっと早く、火災を見つける警報器
煙センサに加え、一酸化炭素センサをプラス。
火災をより早くお知らせし、逃げ遅れを防ぎます。
PLUSCO プラシオ
一酸化炭素検知機能付き火災警報器
日本製　検定合格品　電池寿命10年
新コスモス電機株式会社
www.new-cosmos.co.jp
詳細はこちら »

パロマで、暮らしよく。
FACEIS GRAND
ビルトインコンロ　フェイシスグランド
FACEIS ブランドサイト
＼ブライツ／
BRIGHTS TOUGH & FINE
エコジョーズガスふろ給湯器
BRIGHTS ブランドサイト
自動調理ガイド機能（アプリ対応）
「おまかせシェフ」アプリを使用しレシピを選んでコンロへ送信。手順に従うだけでお任せ調理。ラ・クックグランポットにも対応しています。
Felimo Link
スマートフォン※でどこからでも、ガス給湯器をカンタンに操作できます。
※スマートフォンはiPhone、アンドロイドOSに対応。iPadは非対応。
株式会社パロマ
本社／〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
ホームページアドレス／https://www.paloma.co.jp/
Paloma

そんなお悩みをスリーエス地震計が解決できます！
地震計って繊細で工事が大変そう…
地震発生時の地域の被災状況を綿密に把握したい…
地震計は高価なので地域に1台が精一杯…
ローコストなので予算内で複数台導入できそう！
新たなネットワーク構築ができるぞ！
地域向けガバナに設置すれば、より細かい被災状況の把握ができるぞ！
IMV製
スリーエス地震計 SW-5033
■業界初の耐衝撃 1000G の地震計
■地震発生時のSI値（Kine）および加速度（Gal）を同時にアナログ出力可能
Small　Strong　Smart　3S
▶軽く、小さく、衝撃に強い
コンパクトサイズ、保護等級IP67、耐衝撃1000G
▶SI 値+加速度を正確に計測可能
独自開発した静電容量式加速度ピックアップにより、無感地震から強地震まで正確に計測することができます。
▶ローコスト
「SI値(Kine)」「加速度(Gal)」のアナログ出力など、地震発生時に地域の防災ネットワークに必要な情報と機能に特化させることでローコストを実現しました。
SHINWA 新和産業株式会社　つねにお客様のあらゆるニーズにお応えします。
大阪本社　〒559-0015 大阪府大阪市住之江区南加賀屋2丁目10番16号 TEL 06(6683)0701(代) FAX 06(6683)0770
九州支店　〒812-0055 福岡県福岡市東区東浜2丁目85番8号（西部ガス臨海物流センター内） TEL 092(410)8840 FAX 092(410)8841
東京支店　〒110-0015 東京都台東区東上野4丁目1番8号 ザ・パークハウス上野浅草通り204 TEL 03(5827)3278 FAX 03(5827)3279
広島営業所　〒730-0004 広島県広島市中区東白島町5番9号 さくせすイン白島202号 TEL 082(511)4430 FAX 082(511)4440
名古屋営業所　〒456-0005 愛知県名古屋市熱田区池内町2番11号 池内ビル2階 TEL 052(884)7888 FAX 052(884)7890
仙台営業所　〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1丁目7番4号 宮城商事ビル4階 TEL 06(6683)0701 FAX 06(6683)0770
北海道営業所　〒078-8241 北海道旭川市豊岡11条10丁目7番1号 TEL 0166(76)1349 FAX 0166(85)6321
ホームページ https://www.shinwasangyo-net.co.jp/
ISO 14001　JIS Q 14001　MS CM004

見えないところに大成機工の技術
GMⅡ型特殊押輪®
GMⅡ型鋳鉄管用離脱防止金具
【製作サイズ】100mm～300mm
安全性と高品質を追求。
クリーン・エネルギーとして、幅広く活用されている都市ガスは、いまや社会生活に欠かすことができない貴重な存在です。
ガスの輸送、供給に際して求められるのは、なによりも「安全」。
大成機工は、豊富な経験と確かな技術を生かし、安全性に富んだ高品質な製品の開発を通じてガス事業に貢献したいと願っています。
※本広告掲載の、製品の外観・仕様は予告なく変更する場合があります。
水道管路機器のパイオニア、不断水の
大成機工株式会社
本社/〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目1番3
www.taiseikiko.com
北海道営業所 TEL011(272)5551(代表)　四国支店 TEL087(823)7771(代表)
東北支店 TEL022(263)4041(代表)　岡山営業所 TEL086(223)7248(代表)
東京支店 TEL03(5201)7771(代表)　松山出張所 TEL089(976)3391(代表)
名古屋支店 TEL052(551)0461(代表)　中国支店 TEL082(261)7701(代表)
北陸営業所 TEL076(269)4441(代表)　九州支店 TEL092(481)0026(代表)
大阪営業部 TEL06(6344)1144(代表)